

財政構造の抜本改革を

いのちと暮らし

安心安全を支える

未来の京都を創造

自由民主党京都市議員団は、10月28日、「平成23年度京都市予算及び今後の市政方針に対する要望」を門川大作市長に提出しました。要望は前文と5つの常任委員会別各分野101項目(各委員会間の重複除く)と行政区別69項目からなっており、骨子は次の通り。

平成21年度決算においては、一般会計で実質収支は11億円の赤字と2年連続の赤字となった。また、市バス・地下鉄を含めた連結実質赤字額は192億円もの巨額に上っている。

厳しい状況の中でも、本市は先駆的かつ先導的役割を果たしていくことが求められ、そのためにたゆまぬ行財政改革に徹底して取り組み、硬直化した財政構造から脱却を図る一方、少子・高齢化対策、低炭素・循環型社会への転換、都市の活性化、安心・安全なまちづくりなどの重要施策を積極的に推進していく必要がある。そのためには、財政構

造の抜本改革を推進し、特別の対策に依存しない持続可能な財政運営の確立が求められている。

以上のことから、自由民主党京都市議員団は、国から地方への税源移譲、権

限移譲の一体的な実施をこれからも国に要望していくと共に、京都市が未曾有の危機的状況の中で、これらの課題を解決し、市民のいのちと暮らし、安心・安全をしっかりと支えることが

できる未来の京都を創造していくために、平成23年度予算及び市政方針に対する要望をする。

を実現するため、特に事業ごみの減量に向けて排出事業者、収集運搬事業者への指導を徹底しなど16項目。

▼経済総務委員会 岡崎

地域活性化ビジョンの策定・推進に当たっては、当該地域のポテンシャル、強みを最大限に活かし、岡崎の魅力の世界にアピールするまちづくりを進める。京都市基本計画(案)において設定されている11の重点戦略は、複数の行政分野を融合して取り組むと共に、市民や企業との共汗の下に推進する一など28項目。

▼教育福祉委員会 子宮 頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン予防接種実施の補助に向け、前向きに取り組む。多剤耐性菌の拡大を防ぐため、迅速に実態を調べ、院内感染対策を強化して、市中に拡がらないよう注意。学校教育において、これまでに以上に道徳教育充実に取り組む一など27項目。

▼くらし環境委員会 改正地球温暖化対策条例に掲げた削減項目の達成と低炭素社会の実現を目指し、市民・事業者とともに積極的に取組を進める。「循環のまち・京都プラン」に掲げるピーク時からのごみ半減

▼まちづくり消防委員会 地球温暖化対策やヒートアイランド対策に資するよう「京都市緑の基本計画」に基づく緑化推進事業や街路樹整備などさらに積極的に行う。大規模災害に備えて大型資材等の収納スペース確保、日常訓練活動が円滑に行えるよう各分団器具庫の拡充一など22項目。

▼交通水道委員会 新たな経営健全化計画のもと、更なる経営健全化に努めること。地下鉄5万人増客アクションプログラムの実現に向け、全庁あげて取り組む。上下水道を将来にわた

り安全・安心・安定的に使い続けられるよう、財源をしっかりと確保、必要な事業を推進一など11項目。

平成23年度 予算・市政方針で要望



門川市長に要望書を渡す田中自民党議員団長

交通対策や道路整備

【各行政区別の要望・提言】

▼北区 御薮橋架け替え工事と上賀茂神社周辺道路整備、交通渋滞解消の取組など9項目。▼上京区 上立売通く今出川通間の小川通の道路拡幅整備と上立売通の小川西の道路明示など

6項目。▼左京区 岡崎地域活性化ビジョンに地域住民の意見が反映される取組など9項目。▼中京区 JR嵯峨野線の仮称壬生駅の実現に向けて最大限の努力など2項目。▼東山区 学校跡地について、区の活性化に資するよう地元とも十

分協議し活用する一ほか5項目。▼山科区 公共交通機関の利便性低下について「山科区交通問題研究会」を中心改善を求めるとなど6項目。▼下京区 京都駅前の活性化や観光客等のおもてなし効果を高めるため、塩小路(東洞院く新町)及び烏丸通(塩小路く七条)の駐輪対策や緑化などの整備一など8項目。▼南区

向日町上鳥羽線久世20号線(吉祥院下鳥羽線間の早期完成一など3項目。▼右京区 国道162号など集中豪雨による災害の復旧への早急な取組、ほか5項目。▼西京区 渡月橋南岸の嵯峨街道の電線類の地中化一ほか9項目。▼伏見区 東高瀬川の国道24号より上流の整備を早期に着手する一ほか7項目。

自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成22年(2010)11月1日発行

■発行人/田中セツ子 ■編集長/田中明秀・吉井あきら 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091 http://jimin-kyoto.jp/

No.32

財政、市民の理解促進へ

共に感じる必要

バス停に営業係数 全系統に表示拡大

8		高 雄	
平 日	土 曜 日	休 日	休 日
(お盆・年末年始を除く)		(お盆・年末年始を除く)	
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
10	10	10	10
11	11	11	11
12	12	12	12
13	13	13	13
14	14	14	14
15	15	15	15
16	16	16	16
17	17	17	17
18	18	18	18
19	19	19	19
20	20	20	20
21	21	21	21
22	22	22	22
23	23	23	23

この数字は何？

時刻表右下の223は？このバスが100円の収入を得るために必要とする費用223円です。

寺田一博議員 (上京区)

寺田一博議員(質問)市バスが100円収入するためにかかる経費を示す営業係数ですが、路線毎に数字が違います。この数字が90であれば黒字、150であれば赤字。自

分の乗るバス路線が黒字なのか赤字なのか？市民の皆さんは肌で感じる事ができます。私はかねてから、この数字をバス停の時刻表に掲載することを提言しており、既に一部の路線ではバス停に表示されていますが、早期に全路線の拡大を求めます。

また、このように納税者である市民の皆さんと行政の距離感を縮める仕掛けはまだあるはず。共に汗する前には共に感じる必要があると思います。お考えをお聞かせ下さい。

門川大作市長(答弁)納税者である市民や交通機関などの利用者である市民の皆様、税金や料金がどのように活用されているか、また、厳しい財政状況や経営状況を広くお知らせし、ご理解いただくことは、極めて重要であると認識しております。そのため、議員が例としてお示された市バスでは、現在、営業係数が200以上の系統を対象に、バス停の時刻表にその数値を記載しておりますが、今年度中に、全系統に表示を

自治会加入促進 今年度中に条例

寺田一博議員(質問)私

一昨年の2月市会で自治会組織等への加入促進に向けた条例の策定を提言しました。今年度中の実施に向けて提言します。現在は住宅の場所を

選ぶ際には、最寄り駅等、交通の便を重視しますが、そこに地域情報を加える仕組みを作るべきだと考えます。子供の見守り隊や野外活動が活発な地域や、高齢者のひとり暮らし

拡大して参ります。

しのお宅へ定期的に訪問される学区など地域によって様々な特徴があります。学区や町内の特徴がわかればそれが選ぶ基準になりうるわけです。また、地域で意見があわない場合は行政が意見を聞く場も必要です。条例制定の見通しと方向性をお答え下さい。

門川大作市長(答弁)議員

からご提案を受け、「京都市地域コミュニケーション活性化に関する懇話会」を立ち上げ、議論を重ねていただきました。私は、京都の一番の宝は地域力であると認識しており、市

高齢者在宅ケア 仕組みづくりを

寺田一博議員(質問)私

在宅ケアを受ける方が安心してお願いできる仕組みづくりの必要性を感じています。例えば歯科の在宅診療も益々増加すると思われ、理容の

分野でもそういった動きが始まっているようです。次年度には第5期の京都市民長寿すこやかプランの検討がなされると思いますが、そういった点も考慮していただきたいと思いますが如何ですか？

星川茂一副市長(答弁)第

5期京都市民長寿すこやかプランにおいて、歯科診療や理容サービスのほか、配食やクリーニングなど在宅生活に必要な各種サービスの情報を活用ニーズに応じて組織的に収集し、提供できる仕組みについても検討して参ります。

京の農産物販売戦略は

振り売りに厳しさを

コミュニケーション大切

山本恵一議員(北区)

山本恵一議員(質問)高

齢化により「振り売り」をする農家が減少傾向にあり、地産地消を推し進める他の売り方を考えてゆかねばなりません。つまり京野菜をはじめとした京都の農産物の販売戦略をどう展望し、どのような支援を行っていくか、ご

所見を伺います。

門川大作市長(答弁)伝

統的な販売方法である「振り売り」の継続が困難になるなど厳しい状況の下、新たな販売戦略が必要となっており、今後は、今年度中に「京の旬野菜推奨事業」を実施してき

山本恵一議員の質問項目

- ・高齢社会における施設整備の在り方
- ・農産物の販売戦略
- ・野生鳥獣による農産物被害対策
- ・農業用水路の維持管理(要望)
- ・学力向上に向けた取組
- ・生き方探求教育の推進
- ・ミスト装置の設置拡大
- ・水災害対策
- ・学生サポーター・消防団の充実強化
- ・御園橋周辺の道路状況の改善
- ・市バスの利便向上(要望)

た「京都市農林行政基本方針」に基づき、消費者とのコミュニケーションを大切にしながら販売を強化するとともに、新たな加工品の開発など農業の6次産業化や、京野菜のブランドをより高めるために「ものがたりづくり」にも注力し、拡販を目指して参ります。

(山本恵一議員の質問3面に続く)

9月30日に9月定例会市会代表質問が行われ、自由民主党市会議員団から3氏が質問に立ちました。寺田一博議員は12項目、山本恵一議員は11項目、田中明秀議員は8項目の施策についてそれぞれ質問をしました。



今年4月に開設した北区西賀茂にある介護老人福祉施設

高齢化社会での施設のあり方は

(山本恵一議員の質問続き)

山本恵一議員(質問) 高齢社会における施設整備の在り方について、小規模なものは職員体制や様々な材料などの点で、どうしても施設全体のスケールメリットが出にくくなり、介護報酬上の評価など事業運営をもっとうまく行う必要もあります。大規模なものから小規模なものに大きく発想を転換することが、進行していく高齢社会における施設の在り方だと考えます。

ご見をお聞かせ下さい。

門川大作市長(答弁) 平成18年度からは、「地域密着型サービス」を提供する小規模な施設整備を進め、現在5施設が運営をされています。これからの高齢者福祉施設の在り方を「居宅」か「施設」という二者選択ではなく、これを融合させるもので、住み慣れた地域の中での生活を一層可能とする大変意義深いものです。このため、介護を要する状態になっても安心して豊かな生活が営めるよう、次期プランの策定過程において、十分議論し、これからの高齢

御園橋周辺道路整備計画の状況

者福祉施設の在り方を明らかにしてまいります。

山本恵一議員(質問) 御園橋の改修について、今年度詳細設計を行ない、来年度から工事着手する予定と伺っておりますが、また既に御園橋西詰の京都貴船線堀川通の拡幅に向けた用地買収なども進んでいるとお聞きしています。その進捗状況についてもお答え下さい。

由木文彦副市長(答弁) 御園橋東側の道路の拡幅に用地買収が伴うことや、橋の架け替えに仮橋の設置が必要となることなどから、今後は地権者や関係者の皆様とともに慎重に協議を進め、ご理解をいただきながら整備に向けた取組を改めて進めてまいります。一方、既に着手している御園橋西詰の京都貴船線の拡幅整備については、円滑な通行や歩行者の安全確保を図る上で交差点の改良等に早急に取り組む必要があり、残り1件の用地買収を進めるとともに、今年度詳細設計を実施し、平成25年度の完成を目指し、事業を推進してまいります。

渡月橋南詰から無電柱化にメド

田中明秀議員(質問) 京都第二の観光地嵐山の景観の向上と歩行空間の確保に向けて、渡月橋南詰の嵯峨街道の電線類の地中化等、当地区における整備の方針についてお聞かせ下さい。

由木文彦副市長(答弁) 渡月橋南詰の一部区間が無電柱化の重点整備対象地域となっております。9月22日に開催された近畿地区無電柱化協議会において、平成25年度までに着手予定の無電柱化候補路線として位置付けられました。本市では、当該区間の事業化に向けて取り組んで参りたいと考えております。また、残る阪急嵐山駅までの区間は、長期の検討課題であると考えております。

実効性ある仕組み構築

温室効果ガス削減

次期基本計画で道筋を

田中明秀議員(西京区)

田中明秀議員(質問) 温室効果ガス削減に向け、次期京都市基本計画策定のなか、どう実効性ある仕組みを構築されるのか、お伺いします。

門川大作市長(答弁) 今年度中に策定する新たな地球温暖化対策計画において、20

20年度までに温室効果ガスを1990年度比で25%削減するための道筋を示していきます。次期京都市基本計画は、10年後に目指すべき京都の姿の一つとして地球環境に誇りが豊かに調和する「環境共生と低炭素のまち京都」を掲げ、指針としていきます。また、予算編成にあたっては、新たな地球温暖化対策に賭け

る本市の意気込み、覚悟を示す機会ととらえ、実効性ある新たな仕組みを構築していきます。具体的には、施策の査定に際し、重要な尺度として、地球温暖化対策条例に定めら

れた内容に沿っているか、温室効果ガス削減効果の数値化による「見える化」が図られているかなどの視点を加え、削減効果が高いものを優先して取り組むこととしています。

田中明秀議員(質問) 森林

森林保全対策と森林景観づくり

田中明秀議員の質問項目

- ・温室効果ガス削減に向けた取組
- ・京町家の保全対策
- ・森林保全対策と景観づくりのあり方
- ・コミュニティセンターの転用及び市立浴場の経営改革
- ・昼間里親制度の充実
- ・伝統文化教育と道德教育の充実
- ・洛西地域における公共交通の利便性向上の推進
- ・嵐山地区における無電柱化の取組



ナラ枯れて緑が脅かされる山々(大文字山を望む)

の保全対策、資源活用、森林の景観づくりのあり方について、どのように考えておられるのか、お聞かせ下さい。

門川大作市長(答弁) 本市では、今日まで間伐をはじめとした森林の整備や松枯れ、ナラ枯れ、防除等の保全対策を行い、森づくりを進める市民活動の推進にも力を注いできました。また、地域産木材の普及、公共建築物への積極的な活用も進めてきたところです。こうした人の生活

と結びついた木材や炭・木質ペレットなどの再生可能な森林資源を大いに活用することにより、森林が活力を取り戻し、美しい景観も維持されます。とりわけ三山においては、地形や地質などの自然的な特性に加え、歴史的な背景を踏まえたあべき森林像の提示など、適切な手入れを行っていくためのガイドラインを今年度中には策定し、四季が感じられる森林景観の形成を進めて参ります。

子どもを共に育む京都市民憲章 (平成19年2月5日制定)

わたくしたちは、

- 一、子どもの存在を尊重し、かけがえない命を守ります。
- 一、子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 一、子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 一、子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆(きずな)を大切にします。
- 一、子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 一、子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

小林正明 北区



万葉歌人、山上憶良は「子は宝」と詠み、夫婦にとつても子は鎧(かすがい)。将来の担い手、子供の健全育成は、甘さと厳しさのサジ加減が肝要。

加地 浩 北区



子どもは家族の宝、地域の宝、国の宝です。家庭や地域社会で、人の絆や伝統を尊び、心を育む教育を実現しなければなりません。

山本恵一 北区



子供から大人、親となっていくには、覚悟と学びと自覚が必要で、教育現場での責任ある、大人への脱皮教育のあり方が問われている。

中村三之助 上京区



私は以前から、「地域コミュニティの再構築は少し昔の価値観から」を主張しております。向こう三軒両隣、ご近所を大切にすることを大事にしよう。

寺田一博 上京区



子供を怒るのは親の感情。子供を叱るのは親の愛情。子供に対して感情ではなく愛情で接することが、明るい未来を作ると考えます。

巻野 渡 左京区



二人の子育てを通し、その尊さを改めて感じます。次代を担う子を育むのは大人の責務。憲章推進に向けた行動の輪の更なる拡大を。

大西 均 左京区



私たち大人の役割は、子供の可能性を信じ、自らが育とうとする力に助言を与え、一方で、社会の秩序を毅然と指導しなければならない。

加藤盛司 中京区



「子どもは宝」と言われたのは遠い昔。児童虐待の痛ましい報道が続いています。子どもを健全に育てる家庭・社会作りが大切です。

津田大三 中京区



「子供は大人の言う事を聞くのは苦手だが、真似をするのは抜群にうまい」Jボールドゥイン。大人の行動と責任感が試されています。

内海貴夫 東山区



子供の虐待報道に食事が進みません。子供は社会の大切な宝、それゆえ深い愛と慈しみがふりそそぐ市政を進めなければなりません。

子どもを共に育む京都市民憲章

「推進に向けて」自民党市会議員団

富 きくお 山科区



この憲章が実践されてこそ、心身ともに健やかな子どもが育ち、また、安心して子どもを産み育てられる社会が実現できるのです。

吉井あきら 山科区



子どもたちが大人になった時、正しい判断ができるよう我々大人が、親が、子どもたちに限らない愛情で育てていくことが大切です。

下村あきら 下京区



「白金も黄金も玉も何せむに優れる宝子にしかめやも」時代は変わっても大切なものは不変。家族、地域など絆を大切にすることが求められます。

田中セツ子 南区



連日、報道されている虐待ニュースに胸が痛みます。未来の宝である子どもを、地域・社会全体で育てていくことが求められています。

井上与一郎 右京区



我が国の次代を担う子どもたちは国の宝であり、その幼い命を温かく育み、成長を指すことは我々大人、親の大きな責務であります。

田中英之 右京区



子どもを育むことで、大人の心も育まれると実感します。様々な愛情をぶつけることが、しっかりとした絆を作ると信じています。

山元あき 右京区



躰の名の下に行われる虐待。一方で度を越した甘やかし…。子どもに対する愛情の意味を親や大人は再確認する必要があります。

田中明秀 西京区



子は親の背中を見て育つといえます。しっかり義務が果たせる人間に育つ様、家庭教育、親の責任が問われていると思います。

西村義直 西京区



「かけがえない子どもたちの笑顔のために」確かな京都の将来を担う子どもたちが健全に育つていける社会環境を皆様とともに築きます。

高橋泰一朗 伏見区



「幸福の源泉は家庭にあり」子供達の未来のためにお互いの立場であらゆる可能性を探求してその負託に応えるべく努力してまいります。

繁 隆夫 伏見区



京都のもつ「地域の力」を活かし、スポーツや自然文化体験を通して、心豊かな、たくましい子どもたちを育む取組を推進しましょう。

橋村芳和 伏見区



「子は親の鏡」。地元小学校PTA会長の時に憲章(行動規範を定めたもの)が制定され大いに関心あり。しっかりと議論してゆく。

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市会議員団
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい